

IV 調査事業における課題の抽出

- **自治会との連携不足⇒地縁型とテーマ型の相互のコミュニティ機能**
 - …自治会では、高齢者による地域活動の担い手という問題があり、市民団体は、課題を解決したいという意欲があるにも関わらず、両者が協働で作業する機運が高まらない。
- **活動の担い手不足⇒環境活動情報と環境課題の定期的情報発信**
 - …活動周知の場、広報活動が一般市民にまで浸透せず、特定の団体・参加者の活動となっており、広がりがない。また、団体運営組織の人材不足のため、活動が限定的である(自らの団体の活動に肉体的にも精神的にもめいっぱい)。
- **地域との合意形成の未確立⇒環境の活動分野別へのコーディネート**
 - …活動者・団体が活動をはじめようとするとき、活動に対する理解が得られにくい。
- **活動間の連携不足⇒活動分野別連絡調整からプラットフォームへ**
 - …団体間の交流が希薄なため、限定的で小規模な活動を個々に実施することとなり、技術向上や組織的なマネジメント機能が不足している。
- **環境資源の未活用⇒情報発信と活動活性化によるマッチメイク**
 - …地域住民が環境資源としての活用を認識する機会が少なく、地域資源としての利用価値を見出せない。

V IVの課題への対応策の検討、提言

○ 活動者・団体のネットワーク化

～ 環境再生から地域再生へ ～

組織の中心となるまとめ役(リーダー)と、調整、仲介する市民団体の存在の必要性

住民・企業・行政のパートナーシップを促進し、地域ぐるみでの身近な環境資源を保全・再生するコーディネート組織であるプラットフォームの形成を目指す。

- ・ 活動の“種火を心に持つ”人に共通で身近な環境改善事業の実施
- ・ 活動実践者の役割分担を明確に提示し、情報共有の場を設ける
- ・ 活動者対象に専門家による技術支援、組織マネジメント講座開催

VI まとめ

- **現状・提案の背景**

自然環境や地域資源の活用など地域の身近な環境を守り育てる取り組みが必要になっている。

- **実現の目指していく地域のイメージ**

地域ぐるみで環境再生活動をコーディネートする組織を形成し、その実践を促す。

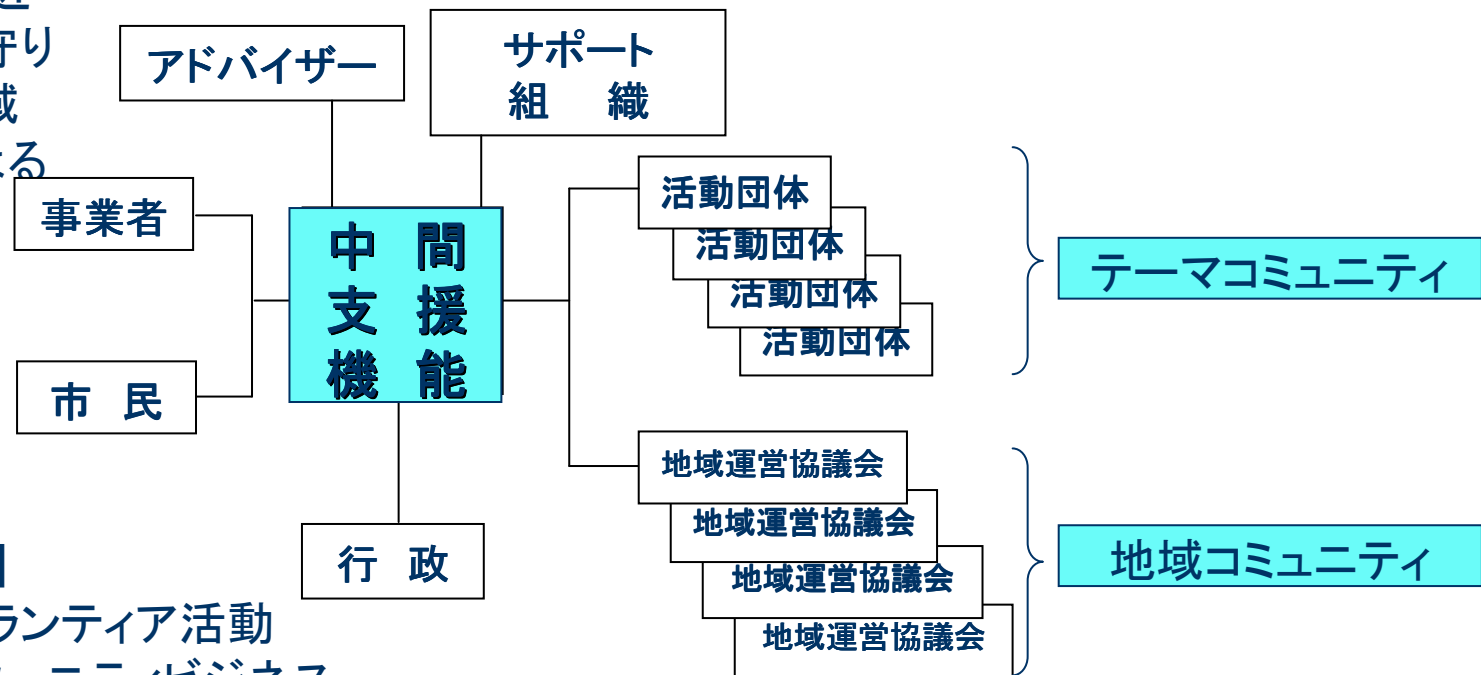
- **提案概要**

地域の豊かな環境を守り育て、持続可能な新しい環境改善の地域文化を創造することを目指すため、地域の各主体とのパートナーシップを促進し、調整・仲介機能をもつ中間支援組織を核とした地域再生の取り組みを目指すためのモデルを模索する。

終わり (地域の将来イメージ)

【アプローチ】
地域の身近な環境を守り育てる地域ぐるみによる取り組み

「住民・企業・行政のパートナーシップによる取り組み」



【プロセス】

- ①環境ボランティア活動
- ②環境コミュニティビジネス
- ③環境再生から地域再生へ

地域の身近な環境再生プラットフォーム・イメージ

市民による環境再生プロジェクト

目的

市民にとって身近な自然環境を市民自らが守り育てる仕組みづくりとともに、市民や地域、市民活動グループの活力を誘発するための支援方策を構築することによって、優れた地域活動や環境教育の場づくりを進める。

担い手

市民(地域住民組織・環境団体)
事業者(大手企業・中小企業)
行政<人的・財政的な支援>

プラットフォーム型イメージ案

《環境再生プロジェクト》

